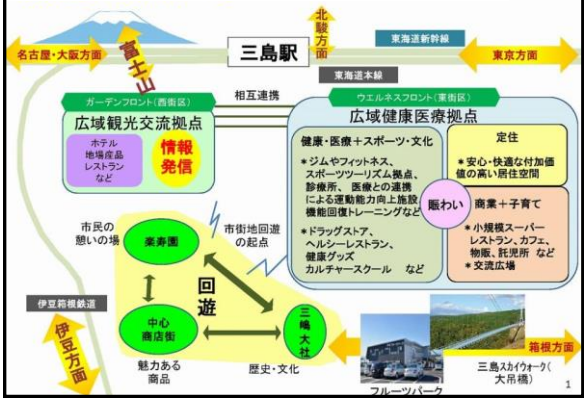
「水の都・三島」の「夢ある未来」を考える意見交換会

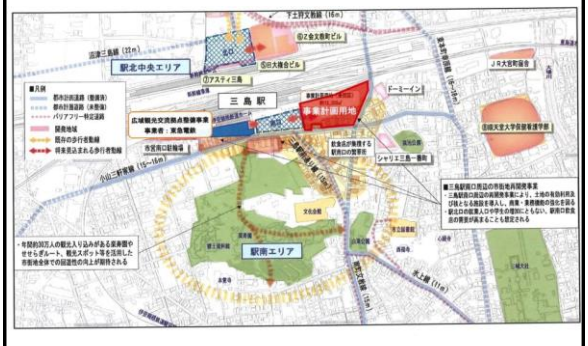
三島の魅力とまちづくり

NPO法人グラウンドワーク三島専務理事
都留文科大学特任教授
渡辺 豊博

三島駅南口再開発事業・開発コンセプトイメージ

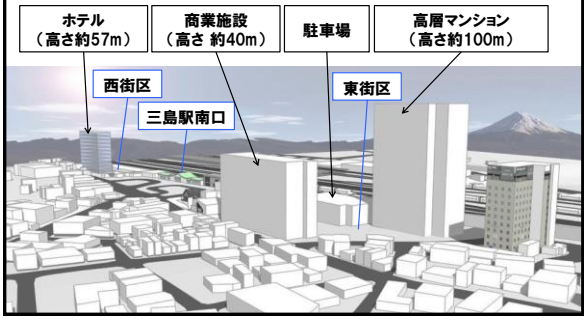


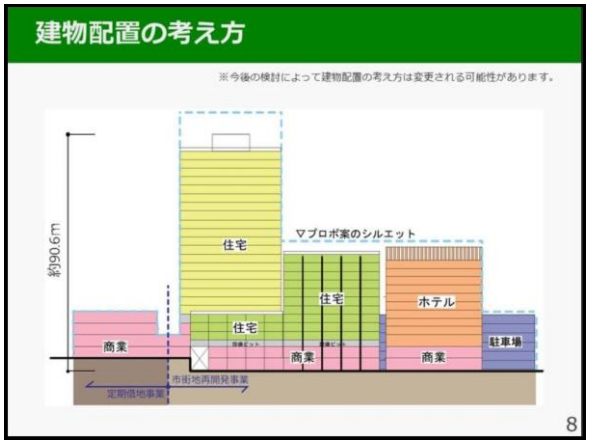
三島駅南口東街区市街地整備事業　開発構想



三島市による三島駅南口再開発事業「完成予想図」

（三島市の計画の一部発表に基づき、グラウンドワーク三島で作成）





三島駅南口東街区再開発事業の問題点

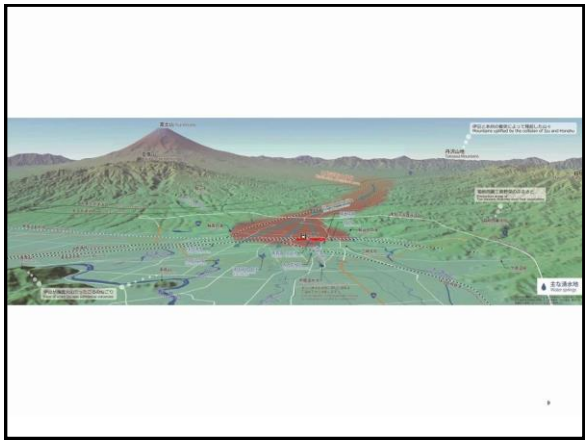
1. 「コロナ禍」の中で見通しの甘い過剰投資
2. 財政調整基金(市の貯金)枯渇の中での56億円の巨額の市民負担
3. 市・県・国の補助金(90億円・総事業費209億円の43%)(一般的な再開発事業の補助金は20~30%)と際立って高い補助金の比率で組み立てられている公益性が希薄な事業
4. 市の負担56億円の17年間での回収は明確な根拠や裏づけが希薄な夢物語

三島駅南口東街区再開発事業の問題点

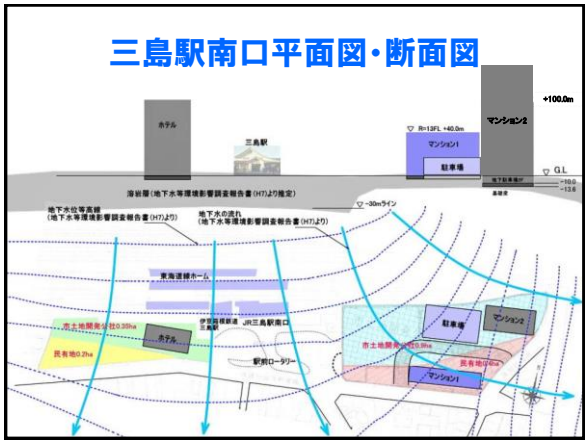
5. 公共性が低いと考えられるので県や国の厳しい行政評価・監査に耐えられる保障無し
6. 駅前への人の集中による街中商店街の衰退
7. 「水の都・三島」の文化的・歴史的な価値・情緒の破壊
8. 次世代に開発余地として残しておくべき貴重な市有地の損失
9. 環境や地下水への悪影響

「水の都・三島」の危機・環境と地下水への悪影響

菰池公園、白滝公園、桜川、御殿川
源兵衛川等の湧水消滅の危険性！



三島駅南口平面図・断面図



「水の街・三島」創生の基本コンセプト

1. 回遊性のある「湧水網都市」づくり

- 御殿川「水の文化散歩道・水と緑のネットワーク」
- 芝岡浅間神社「水の杜・緑の杜」
- 大場地区「健幸フロンティアタウン大場」

2. 伊豆セントラルパーク整備構想の策定と提案

- 富士山・伊豆地域世界遺産ビジターセンター
- 水と緑の伊豆コミュニティ・イベント広場の整備
- 県文化の森サテライトホールの開設
- 三島市役所・図書館・専門学校等の誘致

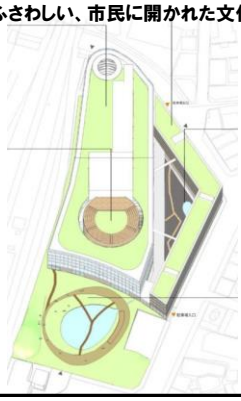
3. 南北通路の建設

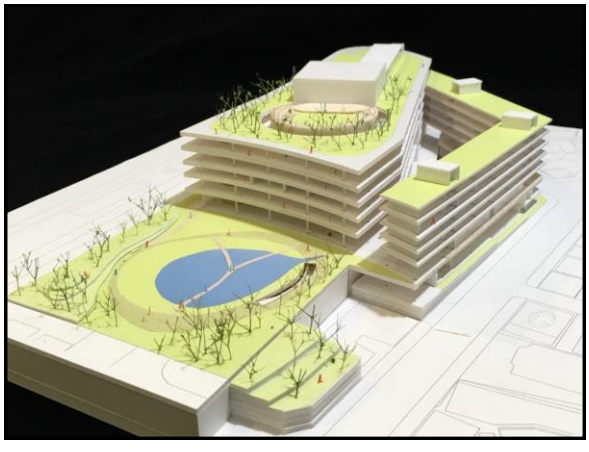
「富士山・伊豆地域世界遺産ビジターセンター」の開設

（三島駅南口東街区内）

しずおか伊豆・文化の森セントラルパーク構想

伊豆の玄関口にふさわしい、市民に開かれた文化の森を創ります





グラウンドワーク三島の実績

活動期間	設立から28年間が経過
実践地区	70箇所のまちの魅力アップを実践
参加人数	32万人のボランティアが参加
視察受入	3万人1,400団体にノウハウを提供
社会的波及効果	観光交流客数174万人（平成3年度）が786万人（平成28年度） 4.5倍に増加
環境再生から観光振興へ	川・湧水池・森・里山の再生 ミシマバイカモ・ゲンジボタル・ホトケドジョウ等生物多様性の強化

グラウンドワーク三島のプロジェクト実践地

70箇所
（28年間）

手作り公園・荒地再生
- 鎧坂ミニ公園
- 沢地ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｶﾞｰﾃﾞﾝ
- みどり野ふれあいの園

水辺環境再生
- 源兵衛川
- 宮さんの川
- 桜川
- 御殿川
- 水車のある原風景再生

学校ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ・環境教育
- 函南さくら保育園ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟ
- 長伏小学校ビオトープ
- 中郷小学校ビオトープ
- 三島南高校ビオトープ
- 鎮守の森探検隊
- 環境出前講座
- 人材育成・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ

自然環境保全再生
- 境川・清住緑地
- 宮さんの川・ほたるの里
- 花とホタルの里
- 松毛川千年の森づくり
- 大場里山自然公園

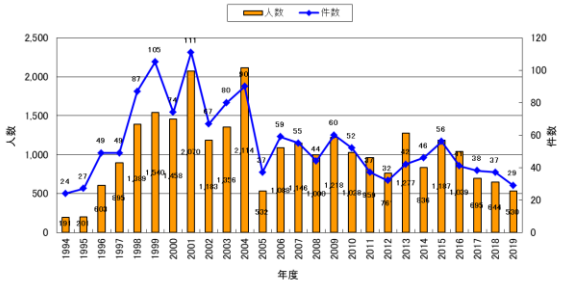
多様な環境改善を実践（70箇所以上）

環境コミュニティ・ビジネス
- せせらぎシニア元気工房
- 三島うみゃあもん屋台
- そばつくり隊
- 三島街中カフェ
- 三島農村カフェ
- 耕作放棄地・里山再生

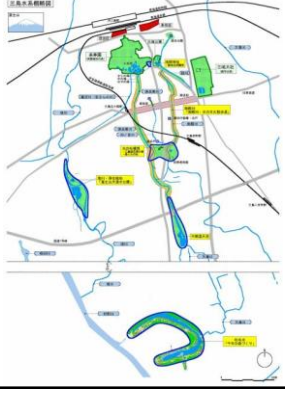
地域の宝物再生
- 雷井戸
- 三島梅花藻の里と水神さん
- 鏡池ミニ公園
- 桜川のカワバタ
- 腰切不動尊と古井戸
- 右内神社とうなぎの枯古池
- 窪の湧水
- 南本町造成地湧水地保全
- 富士山湧水調査・保全活動

環境美化・その他
- フラワー通りの演出
- 三島測候所保存
- 丸平商店再生支援
- 環境バイオトイレ
- Via701ホール運営
- ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞﾜｰｸ研修ｾﾝﾀｰ
- 国際交流（英国・台湾・ 韓国・米国・ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ・ﾈﾊﾟｰﾙ）
- ｼｬｷﾞﾘ山車再生活用支援

グラウンドワーク三島　視察者の推移



「水の都・三島」の新たな魅力アップ整備計画



回遊性ある「湧水網都市づくり」計画

① 御殿川
「水の文化散歩道・水と緑のネットワーク」

② 境川・清住緑地
「水の郷・富士山大湧水公園」

③ 松毛川
「千年の森づくり」

④ 芝岡浅間神社
「水の杜・歴史の杜」

⑤ 源兵衛川
エコロジーアッププロジェクト

回遊性ある「湧水網都市づくり」計画

⑥ 三島梅花藻の里
「水と緑と文化の杜」
⑦ 中郷地区・大溝川
「梅名ロード」
⑧ 大場地区・内陸フロンティア構想
「健幸フロンティアタウン大場」
⑨ 大場里山
「桜山再生プロジェクト」
⑩ 市内空き家の改修活用事業

回遊性ある「湧水網都市づくり」計画

⑪ ふるさとの歴史古道・コウラブセ（甲羅伏）復元
⑫ 「宮さんの川・ほたるの里」修景整備構想
⑬ 三島中央病院横
「水辺のレストラン」構想
⑭ 三島市南本町
「水の都・三島」大湧水公園構想
⑮ 三島市本町
源兵衛川・水辺の憩公園構想

① 御殿川
「水の文化散歩道・水と緑のネットワーク」

外来植物オランダガラシが繁殖した時の御殿川

御殿川（通学橋の上流）

御殿川

御殿川整備構想図

御殿川広域図　SCALE 1：3000

御殿川Aエリア遊歩道イメージ図　SCALE 1：300

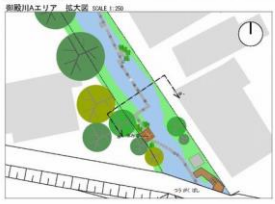
御殿川現況写真

御殿川つうがくばし付近　現況写真1

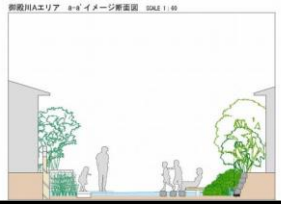
御殿川旧三島中央幼稚園付近　現況写真2

御殿川整備構想図

御殿川Aエリア　拡大図　SCALE 1：250



御殿川Aエリア　a-a'イメージ断面図　SCALE 1：100



御殿川整備イメージ

イメージ写真1（場所：源平堰周）

イメージ写真2（場所：源平堰周）

御殿川イメージパース

御殿川Aエリア　イメージパース1

御殿川Aエリア　イメージパース2

Bゾーン（お地蔵さん前）

現状

提案

Bゾーン（腰切不動尊）

現状

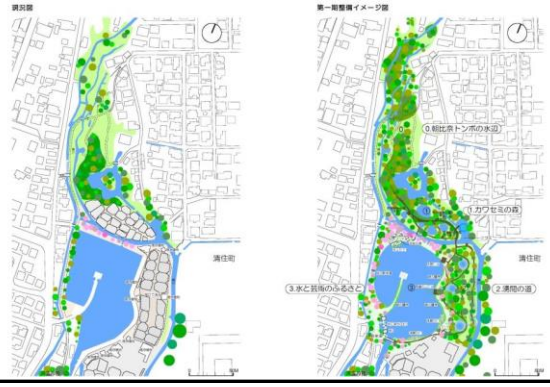
提案

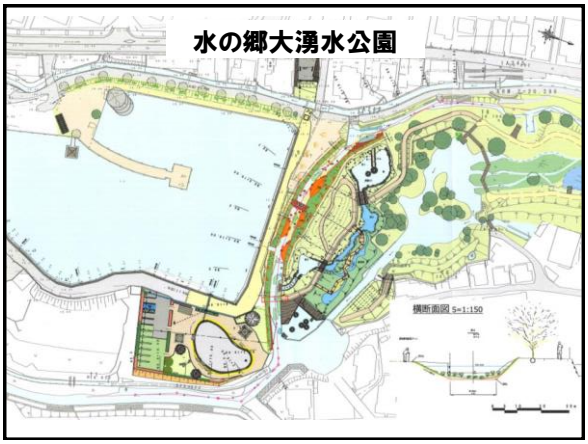
② 境川・清住緑地
「水の郷・富士山大湧水公園」

大湧水池・三つ又

養魚場跡地

境川清住緑地・水の郷大湧水公園　整備構想図





令和元年11月17日　静岡新聞

改修中河川 在来種を移植
グラウンドワーク三島など

河川での作業に取り組む参加者＝三島市内

三島市のNPO法人グラウンドワーク（GW）三島は16日、官民連携の水辺環境保全活動「植生移植ワンデイチャレンジ」を同市と清水町の間を流れる境川で実施した。

県沼津土木事務所による河川改修工事に合わせて行われた取り組み。県や市、施工業者の加和太建設（同市）の職員、地域住民ら35人が参加。河川約200メートルに自生するミシマバイカモやミクリ、ヒメミクリなど希少な在来種9種類を採取し、川沿いに設けた保護スペースに移植した。保護した植物は工事が終了する2月ごろ、土手に定植する予定。

GW三島の渡辺豊博専務理事(69)は「非常に貴重な森と水辺の空間を守ろうと取り組んだ。地域が一体となって行う自然河川づくりの第一歩だと思う」と話した。

令和2年3月1日
静岡新聞

整備、改修の「水の郷公園」沿い

境川の貴重植物 再移植
GW三島 工事の影響軽減へ

三島市が3月の完成をめどに整備工事を進める水の郷公園（同市清住町）沿いの境川で29日、同市のNPO法人グラウンドワーク三島が事前に移植して保護していた植物の植え込みを行った。工事による自然環境への影響を軽減する「ミチゲーション」という手法で、絶滅危惧種のバイカモやミクリなど貴重な在来種計18種類が元の場所に植えられた。

川沿いに植物を植える関係者＝三島市清住町

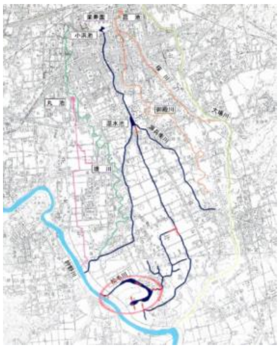
境川では公園の造成に合わせ、沼津土木事務所が河川改修工事を進めている。設計にも関わった同NPOは昨年11月、工事によって影響を受ける在来植生を近くの定植地に移し替え、水やりをしながら育てていた。工事が終了に近づいたため、約100メートルの川沿いや公園に再び移植した。

同公園は養魚場の跡地に整備され、園内では7カ所から地下水がわき出ている。近くに湧水のビオトープもあるほか、改修した境川では以前のコンクリート護岸を壊し、より自然に近い水辺環境を整える。同NPOの渡辺豊博専務理事は「植物があると魚が卵を産み付けたりできる。生態系がさらに循環するエリアになってほしい」と話す。（三島支局・金野真仁）

③松毛川千年の森づくり

狩野川の原風景・松毛川の河畔林

松毛川「千年の森づくり」



地域住民との協働によるゴミ除去

市民によるホテイアオイの除去作業（2003年）

松毛川（灰塚川）の環境劣化の進行

台風4号通過後のエノキの倒木
灰塚川左岸中流部・沼津市大平
（2012年）

エノキの倒木により崩壊した
自然堤防
（2012年）

右岸・河畔林（荒廃した竹林） 2011年

右岸・河畔林再生（竹伐採） 2011年～

右岸・河畔林再生（ご神木現る）

最上流部・沼津市境（荒廃竹林） 2015年

最上流部・沼津市境（竹伐採・植樹後） 2016年

竹のチップ化作業　2016年

右岸・河畔林再生（植樹）

松毛川整備構想図

④芝岡浅間神社・水の杜整備構想

⑤ 源兵衛川「エコロジーアッププロジェクト」
～ゴミ捨場化した川をホタル舞う川に復活～

湧水が豊富だった頃の源兵衛川
（1955年頃）

水辺で遊ぶ水餓鬼

環境悪化が進行した源兵衛川上流部（1980年頃）

環境悪化が進行した源兵衛川上流部（1980年頃）

源兵衛川でのゴミ拾い

住民参加の計画づくりと合意形成

水辺再生のシンボル
ホトケドジョウ
（静岡県レッドリスト絶滅危惧IA類/県東部）

中流部・生コン流出事故
（2007年12月）

パートナーシップで清流を復活

地域の恥に成り下がった
汚れていた頃の源兵衛川
（1960年～1989年）

市民普請で清流を取り戻した
源兵衛川

源兵衛川が「世界かんがい施設遺産」と「世界水遺産」にダブル世界遺産登録

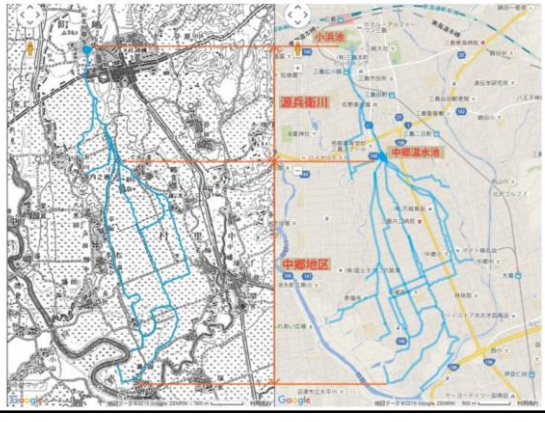
源兵衛川
～富士山の湧水を水源とし、地域関係者が一体となって維持管理をしている水路～

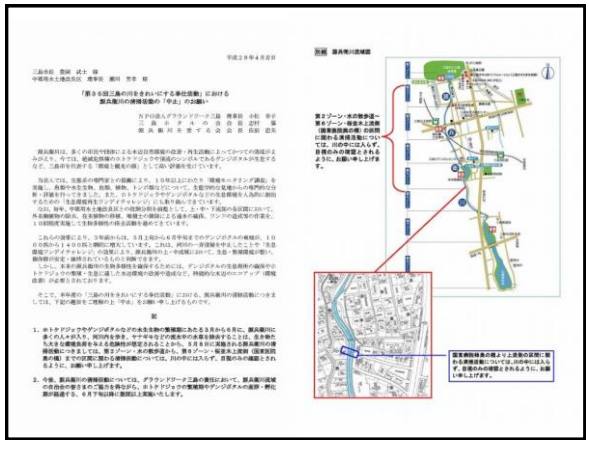
中郷地域は1/200の勾配を持つ平坦地であり、さらに、2つの川に挟まれているので、米を育てるための好条件が揃っていた。しかし、広く水田を開発するためには、中央を走る幹線水路が必要であった。そこで、16世紀に三島（北伊豆）の有力者である寺尾源兵衛氏が、中郷地域のⅡ ヶ村の耕地に広くかんがいするために、富士山からの湧水池を水源に求め水路を建設した。

水路の築井の多くは世界文化遺産である富士山から噴出した溶岩を活用した石積みとなっている。水路の計画にも当時としては先進的な工夫が見られる。富士山に降もった雪解け水が地下水となって湧き出た水は冷たいため、上流部の水路幅を5～10mと広く、水深を浅く設計し、水温の上昇を図っている。また、高所に貴重な定めて広範囲へのかんがいを可能としている。この用水のおかげで周辺は豊かな水田地帯に生まれ変わった。近代の改修事業では水温上昇のための池が建設されている。

都市化により水質が非常に悪化した時期があったが、環境配慮型の改修事業を含む環境保全への取組みにより、水質は回復した。また、水管理組織のみならず、市民・NPO・行政・企業・農業者・水管理組織がパートナーシップを組んだ、先進的な水質保全・維持管理システムが確立している。

源兵衛川・中郷地区水路図　（左図：1894 ～ 1915 年頃、右図：2016 年）





絶滅危惧種・ミシマバイカモを再生

清流のバロメーター

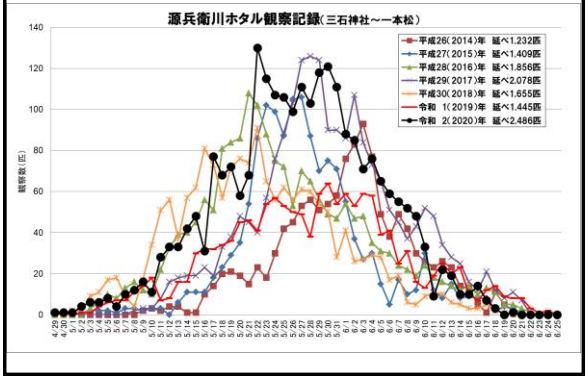
ミシマバイカモ

（静岡県レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類）

源兵衛川・ミシマバイカモ群生地
増殖させたミシマバイカモを移植

元ドブ川にゲンジボタルが乱舞

源兵衛川のゲンジボタル観察数（平成26～令和2年）



水辺観察会

市内の小・中学校での
「環境出前講座」

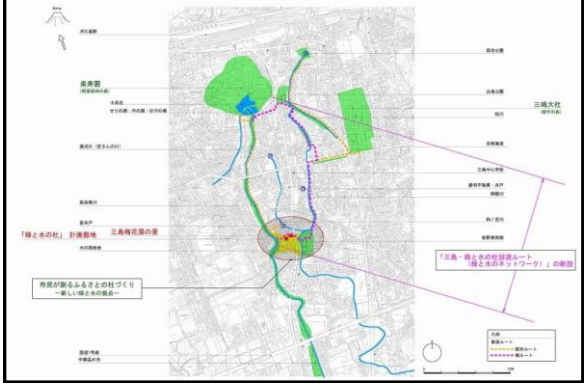
子どもや保護者対象の
「生き物観察会」

ワンデイチャレンジ

外来植物の除去・
在来植物の移植

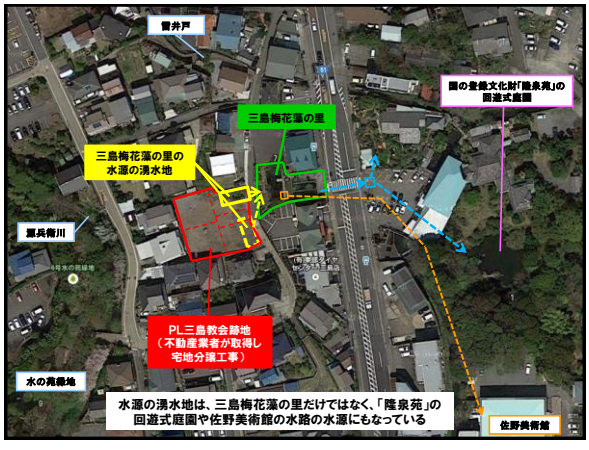
大学生との協働による
生き物水路づくり

⑥ 三島梅花藻の里「水と緑と文化の杜」

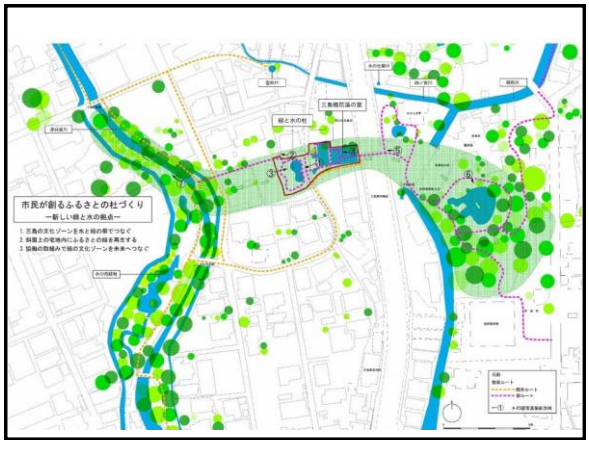


三島梅花藻の里保全
ミシマバイカモ （静岡県レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類）
「水の郡・三島」の清流のシンボルで「清流のバロメーター」と呼ばれる。環境悪化により市内から姿を消した
三島梅花藻の里（1995年～）
湧水地を借り、保護・増殖基地として整備した
三島梅花藻の里（1995年～）
毎週、市民による定例整備作業を継続実施している
源兵衛川・ミシマバイカモ群生地
増殖したミシマバイカモを中流部に移植し
「水の郡・三島」の原風景が復活した

水源の湧水地
平成26年、三島梅花藻の里の水源の湧水地を含む
隣接地を不動産業者が買収した
宅地分譲工事によって、水源の湧水地が
消滅の危機にさらされた
宅地分譲工事現場から三島梅花藻の里に
濁水が流入し池が白濁した（3回）
宅地分譲工事中に三島梅花藻の里の
湧水池が枯渇しミシマバイカモが枯死した


雪井戸
国の登録文化財「隆泉苑」の
回遊式庭園
三島梅花藻の里
三島梅花藻の里の
水源の湧水地
源兵衛川
PL三島教会跡地
（不動産業者が取得し
宅地分譲工事）
水の苑緑地
水源の湧水地は、三島梅花藻の里だけではなく、「隆泉苑」の
回遊式庭園や佐野美術館の水路の水源にもなっている
佐野美術館

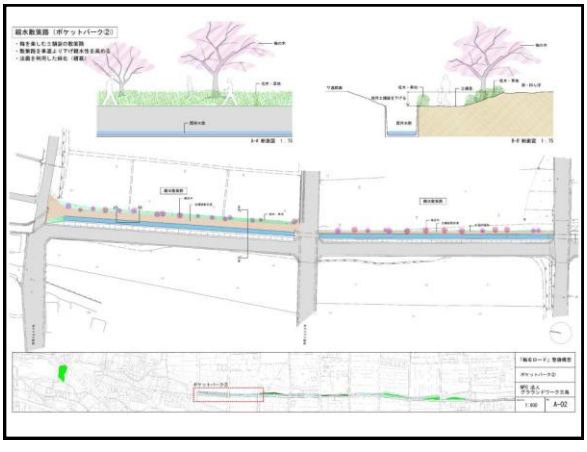
三島梅花藻の里「泉トラスト運動」
（署名1万人・募金1千万円を目標）
「梅花藻の里」守れ　泉トラスト運動
市民ら署名１万人超
島市、湧水地を購入方針
署名・募金活動を平成26年9月中旬に開始
多くの方々からご協力をいただいた結果、
12月下旬に署名の目標1万人を達成した
市民パワーによって、三島市による
湧水地取得が実現する見通しが立った

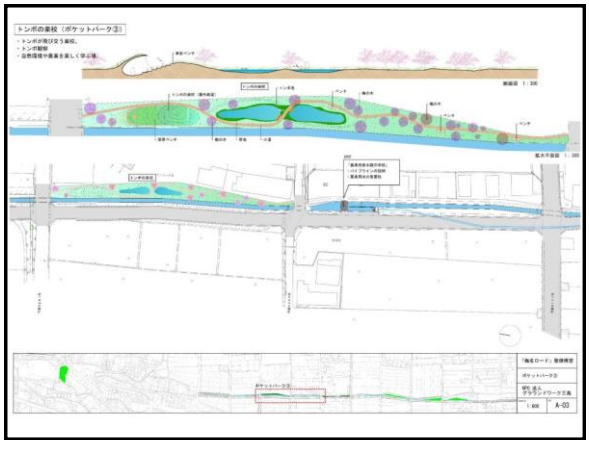

市民が創るふるさとの杜づくり
―新しい緑と水の拠点―

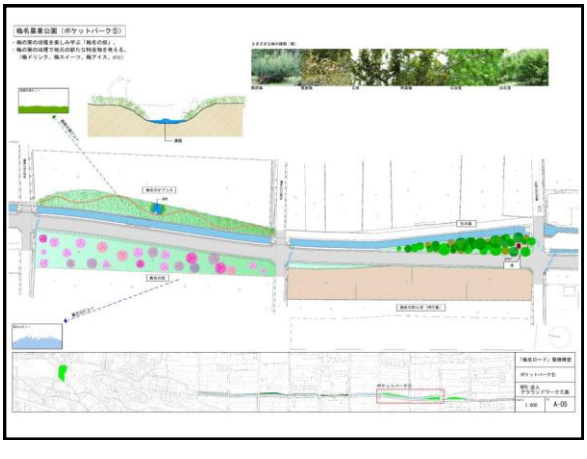
「緑と水の杜・三島梅花藻の里」竣工式

⑦ 中郷地区・大溝川「梅名ロード」

「中郷温水池」修景整備構想

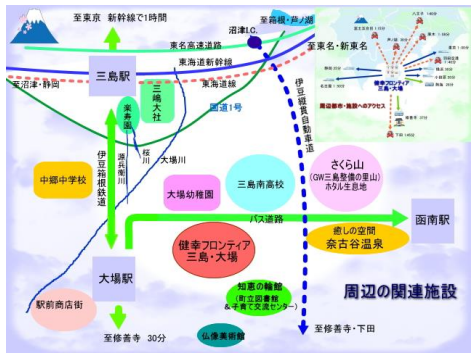






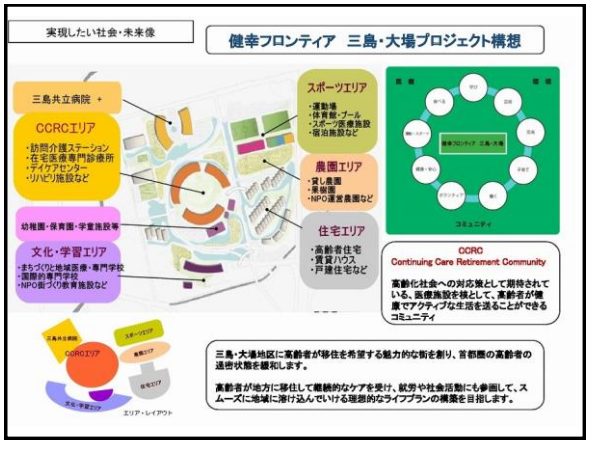
⑧ 大場地区・内陸フロンティア構想
「健幸フロンティアタウン大場」

概念図・データ表・画像



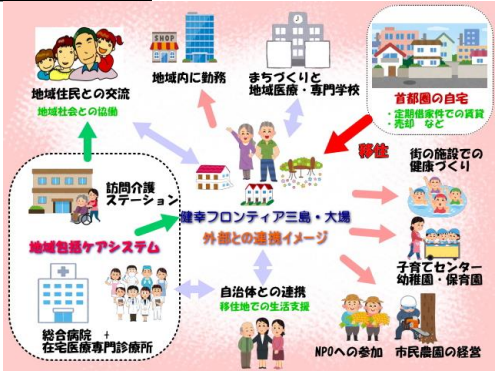
添付図1:周辺の関連施設との連携

実現したい社会・未来像



「健幸フロンティアタウン大場」構想　イメージ

概念図・データ表・画像②



添付図2:地域環境との融合・連携

⑨ 大場里山「桜山再生プロジェクト」

「桜山」内の現況

大場里山土羽水路

「桜山」山頂部の石積みの祠

大場里山造成水路

⑩ 市内空き家改修活用事業

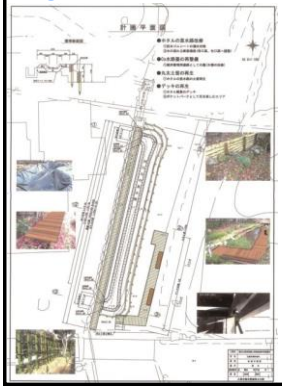
三島街中カフェ1号店

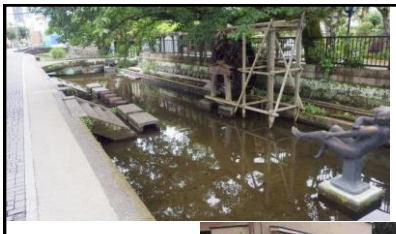
三島街中カフェ2号店

三島街中カフェ3号店

⑪ふるさとの歴史古道・コウラブセ（甲羅伏）復元

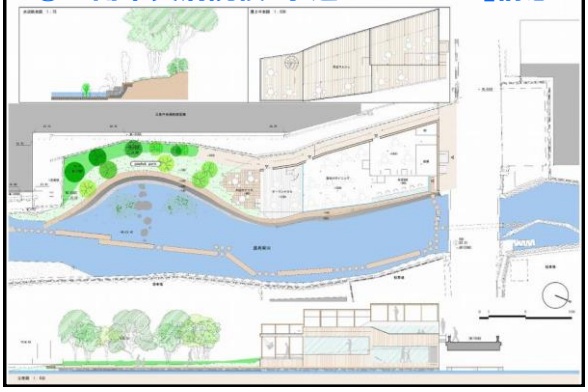
⑫「宮さんの川・ほたるの里」修景整備構想

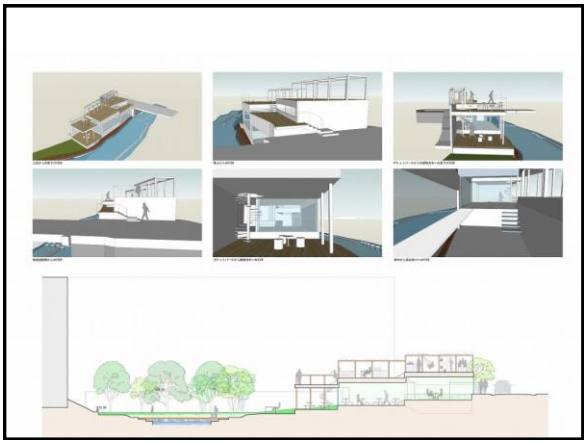




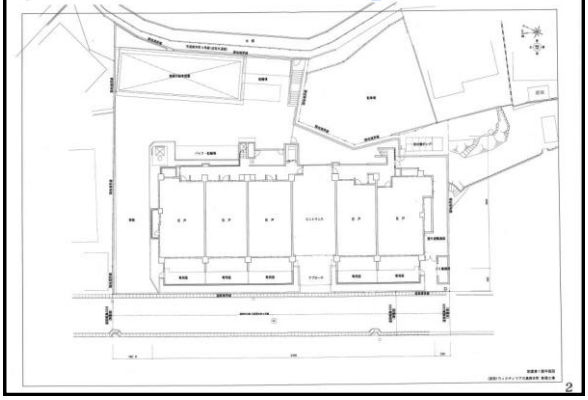
宮さんの川

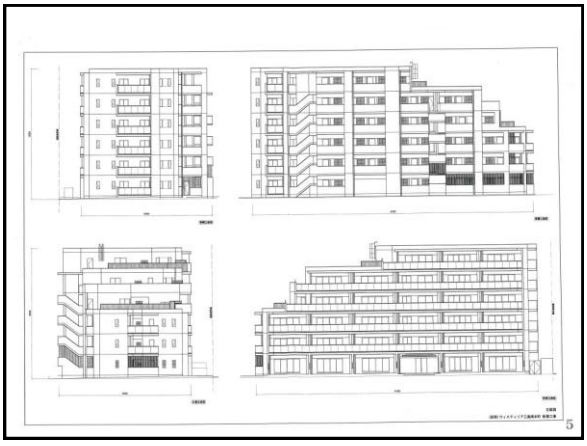
⑬三島中央病院横「水辺のレストラン」構想



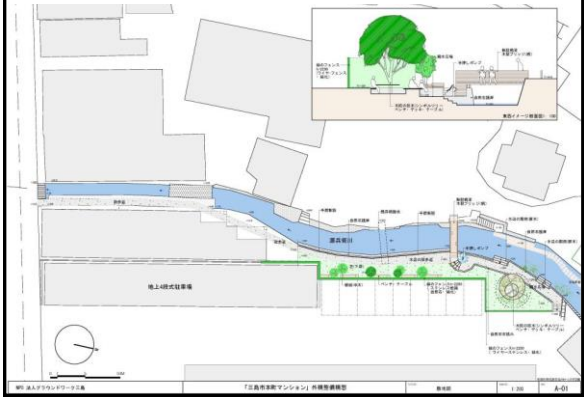


⑭三島市南本町「水の都・三島」大湧水公園構想





⑮三島市本町 源兵衛川・水辺の憩公園構想



「水の都・三島」の「夢ある未来」の方向性

1. コロナ禍の中で現再開発事業は「見直し・凍結・中止」する。
2. 街中にさらに新たな魅力的な「水の仕掛け」を創り、「回遊性」を高める。
3. 街中の空き店舗・空き家・空地を活用した「面的まちづくり」事業を市民発意で展開する。
4. 県や周辺市町村などと連携した東街区での「広域拠点整備」と「南北通路」の実現化を図る。